

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハビ—神戸三宮教室		
○保護者評価実施期間	2024年 7月 21日		2024年 8月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 49
○従業者評価実施期間	2024年 7月 21日		2024年 8月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 8月 23日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援計画に沿った支援の提供	・毎回の支援を考える際に個別支援計画を確認するだけではなく、担当者や前回の支援担当にお子様の状況や様子を確認するようにしている。	・フィードバックで保護者様からお子様の情報を引き出し、支援に取り入れる内容を検討していく。
2	個別支援計画の作成	・個別支援計画検討会議にできる限り職員全員が出席し、参加が難しい場合においても全員が議事録にて会議の内容が分かるようにすることで、職員間での共有認識を図っている。	・話し合い、検討した結果を保護者の方に目的や意図を含めて伝えていくことができるようにする。 ・検討した結果を踏まえて支援を行い、その振り返りができるようにしていく。
3	お子様が安心感をもって通所できる	・玄関先で明るく迎え入れ、送り出しができるよう、全職員が意識して対応している。 ・お子様が楽しめるようなイベントを毎月実施することで楽しく通うことができるように工夫している。	・支援の中でもお子様が安心感を持って課題に取り組むことができるよう、環境設定や声掛けを行っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流の機会や家族への支援の提供	・保護者様同士の交流の機会をこれまであまり提供できていない。	・集団支援やイベントの際に、家族支援プログラムや座談会等を開催することで、保護者様同士の関わりや話をする機会を提供していく。また、月1回オンラインで専門職によるご家族に向けた支援も実施中のため、周知を徹底する。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や地域のこどもたちとの関わりについて	・ご利用者様からの希望がなかったため、これまで実施した経緯がなく、取り組むことができていない。	・今後、保護者様のご意向を確認するとともに、希望があれば地域との連携を行っていく。
3	非常災害時に備えた定期的な訓練と救出の実施	・避難訓練は年に2回実施しているが、利用日・利用時間が重なっていない利用者様に関しては、訓練をしていることを知らない可能性がある。	・できるだけたくさんの利用者様に参加していただけるよう開催できる日程や時間を検討していく。 ・訓練の実施の前後にご案内を掲示することで、参加できなかった利用者様にも見ていただけるようにする。